

やす市議会だより



野洲市議会 映像配信
YASU CITY ASSEMBLY WEBCAST

文字サイズ変更

小さく

標準

大きく

トップページ

録画中継トップページ

会議名から選ぶ

議員名から選ぶ

用語で検索する

生中継を見る

※会議の録画映像をご覧いただけます。



平成24年第3回定例会(8月)

9月21日 本会議 閉会

第 1 諸般の報告

第 2 会議録署名議員の指名

第 3 議第57号から議第82号まで

(平成24年度野洲市一般会計補正予算(第
各委員長より委員会審査結果報告、質疑

山仲 善彰 市長

一時停止

01:23:51 / 01:24:26

全画面表示

○「野洲市空き家の適正管理に関する条例(案)」に対する
意見を募集します。

意見募集期間	11月1日(木)～22日(木)
閲覧場所等	市議会HP、議会事務局、市役所情報公開コーナー、 市民サービスセンター、市民活動支援センター、 各コミセン、野洲地域総合センター、市民交流センター
問い合わせ	議会事務局(左下に記載)
応募方法	住所、氏名、意見(様式自由)を記入の上、郵送、FAX、Eメール または持参のいずれかの方法で議会事務局まで
その他	お寄せいただいた意見は、条例制定の参考とし、意見の 検討結果は、個別回答はしませんが、市議会ホームペ ージで公表します。

8月定例会から「野洲市議会インター
ネット映像配信」が始まりました。

No.32

発行日/平成24年11月1日

発行/野洲市議会

編集/議会広報特別委員会

〒520-2395

滋賀県野洲市小篠原2100番地1

TEL (077) 587-6034

FAX (077) 586-4300

野洲市ホームページ

http://www.city.yasu.lg.jp/

● 8月定例会報告	P 2
● 決算の概要	P 4
● 一般質問	P 5
● ここでひと休み	P 9
● 一般質問	P 11
● 審議結果	P 16
● 議会の動き	P 18

平成24年 8月定例会

(今定例会より、定例会の呼称が、開会日の属する月に変更となりました)

8月定例会は、8月28日開会、9月21日閉会の25日間で、主な審議内容は次のとおりです。
なお、上程された件名及び審議結果は、16ページに記載しています。

条例

◎野洲市防災会議条例の一部を改正する条例

◎災害対策基本法の一部改正等により、所要の改正を行うもの。

◎野洲市災害対策本部条例の一部を改正する条例

◎災害対策基本法の一部改正により、所要の改正を行うもの。

◎野洲市道路占用料条例の一部を改正する条例

◎占用料の算出に当たって参考になっている、道路法施行令の一部を改正する政令に準ずるもの。

議員発議

◎野洲市議会政務調査費の交付に関する条例の

その他

一部を改正する条例

◎平成23年度野洲市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

◎専決処分につき承認を求めることについて

◎平成24年度野洲市一般会計補正予算（第2号）

1億101万1千円を追加する。

市内大手法人の法人市民税の確定申告により、予定納税分の還付金及び還付加算金を計上。

◎指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて（野洲文化ホールほか）

◎財団法人野洲市文化スポーツ振興事業団が、

理事会において解散を議決されたため、同事

業団を指定管理者とする野洲文化ホール、さざなみホール、総合体育館などについて、指定管理期間を平成25年3月31日までとするもの。

◎市道路線の認定及び廃止について

◎竹生地先での宅地開発に伴う当該路線の市道認定など。

◎和解について

◎篠原小学校校舎改築工事におけるエレベーター昇降路の設計不整合により発生した損害賠償請求を行う訴えの提起に関して、和解しようとするもの。

◎人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて

◎12月31日の任期満了に伴い、福谷巖氏と川端初美氏を引き続き推薦。

意見書

◎米軍輸送機オスプレイの配備撤回を求める意見書

◎陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める意見

書

◎「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書

◎北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

総務常任委員会

◎野洲市防災会議の委員構成は。

◎国から琵琶湖河川事務所長、県から大津・南部農業農村振興事務所長、南部土木事務所長、南部健康福祉事務所長、その他守山警察署長、東消防署長、消防団長、YFL分団長、守山野洲医師会、近江鉄道(株)、大阪ガス(株)、関西電力(株)、N-T-T(株)、JR西日本野洲駅長、びわ湖放送(株)、市の部長級職員など23名いる。

◎空き家の適正管理に関する条例(案)の概要

◎趣旨

市内で空き家の件数が増えており、防犯上の問題や災害発生時の影響等が危惧されていることから、所有者や管理者に適

正な管理を促し、市民の安心で安全な生活を確保する。

◎条例の対象

現に人が使用していない空き家で、老朽化や災害等により倒壊したり建築材料などが飛散する可能性があるもの

◎空き家の把握

市民等からの情報提供や市役所の調査によって把握

◎適正化への手続

所有者や管理者に対して次の手続を行う。
指導↓勧告↓措置命令↓行政代執行

※本条例は議員提案により制定しようとするものです。

文教福祉常任委員会

◎財団法人野洲市文化スポーツ振興事業団が解散され、指定管理者制度から市の直轄管理に変更されることによるコスト面の影響は。

◎縮減できる方向に考えているが、施設の老朽化による修繕費などが出てくる。

◎本年4月に改正済み。改正により企業など



野洲文化ホール

◎体育施設の収益状況は。

◎プール事業は利用料収入が多くあり、収益性が高い。

◎嘱託職員や臨時職員の雇用は。

◎本人の意思を尊重しながら、雇用期間満了までは市の規則に基づき選考をする。

◎指定管理料の内、人件費の割合は。

◎平成23年度実績で70%近く支出されている(要望) 直営での良さを生み出して欲しい。

環境経済建設常任委員会

◎道路占用料の変更に

ついて、県道は改正をされているのか。

◎本年4月に改正済み。改正により企業など

からの収入も減るのか。

○市では関西電力・N T T・大阪ガスからの収入予算額が1710万円で、前年対比206万円の減額となる。

○占用料の額は市独自で決められるものであり、財政厳しい中で引き下げる必要があるのか。

○県・大津市以外の市町は、道路法の施行令に準拠しており、大津市は独自の規定を設けている。

○市道認定について、野洲川リバーサイドタウンの外周は、仮設の部分も含めて認定できないのか。

○仮設を含めて認定をすると、2年後に再度廃止して市道認定の手続きが必要となる。

予算常任委員会

○平成24年度野洲市一般会計補正予算（第3号）

○3億9705万3千円を追加し、総額を205億1851万3千円とする。

○平成24年度野洲市国民健康保険事業特別会計

補正予算（第1号）

○1億6675万9千円を追加し、総額を47億7927万4千円とする。

○平成24年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

○698万5千円を追加し、総額を4億2040万5千円とする。

○平成24年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

○3188万1千円を追加し、総額を29億6717万3千円とする。

○平成24年度野洲市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

○130万7千円を追加し、総額を24億6996万3千円とする。

○平成24年度野洲市墓地公園事業特別会計補正予算（第1号）

○373万2千円を追加し、総額を2919万5千円とする。

総務分科会

○庁舎等改修事業費で旧分庁舎の工事が計上されているが、入所予定の団体等は。

○市の関係では市民サービスセンターと図書館分室等、また、各種団体では商工会、工業会、青年会議所、体育協会、社会教育関係団体、さざなみスポーツクラブ等が入所予定である。

○要望 市民サービスセンターで対応できる業務の周知を図りたい。



旧分庁舎

文教福祉分科会

○仮称第1子ども園の整備事業の詳細は。

○買収予定地のうち畑地等が1741平方メートル、宅地508・39平方メートル、全体の土地代金は鑑定前の試算額として1億1500万円程度で、地権者の意向等もあるが平成25年度中には用地買収等を完了し、平成28年4月開園をめどに進めていく。

環境経済建設分科会

○野洲駅北口横断歩道の設計に関して、久野部側にも階段等を設置して改札に上がる検討はされなかったのか。

○審議会においても提案されたが、設置する場所が狭く、新たな交通障害が懸念されること、また、財政面からも難しいと判断した。

○意見 再考できることについては、変更設計で対応するように。



野洲駅北口

決算特別委員会

○平成23年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について 他10件

総務分科会

○消費相談件数が前年度対比190件増となっているが、相談内容は。

○多重債務は減少傾向にあるが、インターネット関連の相談が増加している。

○固定資産税の不納欠損額が増加しているが、滞納になっていった時点で差押え等はされたのか。

○企業で破産、競売があり、物件自体も移転されたので不納欠損処分をした。差押えも行ったが、抵当に入っており、優先する債権者があったことから配当は得られなかった。

文教福祉分科会

○乳がん、子宮がん検診の受診者数が減少している要因は。

○2年に1度の受診が目安になっている。また妊婦検診の検査項目に子宮がん検診が含まれ、妊婦が対象から外れたこと等が主な要因となっている。

○国民健康保険資格証明書の交付数が増加しているが。

○納税者の公平性を求め発行に至っている。

今後納税相談を行い、納税意識の向上につなげていきたい。



税務課の相談風景

環境経済建設分科会

○緊急雇用創出特別推進事業は、国の経済対策が終了しても、必要な雇用に関しては継続する必要があるのでは。

○次の仕事を見つけるまでの雇用であり、期間が終了したら終わりというのは制度上やむを得ないと思う。

○永原住宅第2の修理状況は。

○昭和44年に建設され40年が経過し、全体的に老朽化している。ガラス戸をサッシに替える。また電気関係や給湯設備等の修繕費が増加している。

平成23年度決算認定議案を決算特別委員会で審査しました。

一般会計決算をはじめとする平成23年度の野洲市全11会計の決算認定について、決算特別委員会で慎重に審査されました。

●一般会計の決算状況

歳入総額 204 億 1744 万 5886 円

歳出総額 197 億 8081 万 7164 円

差引額 6 億 3662 万 8722 円の黒字決算となった。

このうち、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、4 億 9902 万 7722 円となった。

歳入決算額を財源的にみると、自主財源 51.2%、依存財源 48.8%で、自主財源が依存財源を上回る結果となった。

●税等の収納率

市税 96.6% (対前年比 0.1 ポイント増)

国民健康保険税 80.7% (対前年比 1.0 ポイント減)

後期高齢者医療保険料 99.8% (対前年比 0.2 ポイント増)

介護保険料 98.5% (対前年比 0.2 ポイント増)



●財政状況を示す主な指数

	財政力指数【※1】	経常収支比率【※2】	実質公債費比率【※3】
平成 23 年度	0.823	91.1%	16.0%
平成 22 年度	0.889	88.3%	15.9%
対 前 年 比	0.066 減	2.8 ポイント増	0.1 ポイント増

【※1】財政力指数⇒自治体の財政力を表わす指数で、指数が高いほど財政的に弾力性がある。1を上回ると普通交付税の不交付団体となる。

【※2】経常収支比率⇒地方税などの一般財源収入に占める人件費・扶助費・公債費など経常的経費の割合で、指数が低いほど弾力性が大きい。

従来自治省（総務省）の指導としては、市町村では75%を上回らないことが望ましいとされていた。

【※3】実質公債費比率⇒公債費（借入金の償還）や公債費類似経費に充てる一般財源の額と、標準的な規模の収入額の比率のことで、この比率が高いほど財政運営の硬直化が進んでいる。18%以上になると地方債（借入金）の起債（借入れ）をするのに県の許可が必要となり、25%以上になると起債が制限される。

●基金と市債の現在高（水道事業会計を除く。）

	基金（預貯金）現在高		市債（借入金）現在高	
	金 額	市民一人当たりの額	金 額	市民一人当たりの額
平成 23 年度	35億3900万6993円	6 万9636円	432億1229万8831円	85万 284円
平成 22 年度	21億 42万7867円	4 万1431円	427億5164万3975円	84万3294円
対 前 年 比	14億3857万9126円 増	2 万8205円 増	4 億6065万4856円 増	6990円 増

市民一人当たりの額⇒平成 23 年度は平成 24 年 3 月 31 日現在の人口 50,821 人、平成 22 年度は平成 23 年 3 月 31 日現在の人口 50,696 人で割った額。

監査委員の審査意見＜要旨＞

- ①決算及び付属書類とも、関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であった。いずれも予算の目的に従って、おおむね適正に執行されていると認める。
- ②市財政の根幹をなす市税の収納率は昨年度より上昇しており、今後も税収の確保に努められること。また、税外収入についても、公平・公正性の原則に立って厳正な態度で臨み、収納率の向上と収入未済の発生防止に努めるとともに、適正な債権管理を望む。
- ③事務事業の執行について各種補助金と負担金の必要性及び妥当性の観点からの見直し、使用料・負担金の未収金の解消として保育料の滞納整理マニュアルの作成、学校給食負担金徴収マニュアルの適正な事務の執行、契約事務では随意契約ガイドラインの早急な策定、財産管理では公有財産台帳の早急な整備など、今後の事務事業の執行にあたっては、行政の公平性・効率性・透明性の確保とチェック体制の強化を図り、組織全体の連携の下に的確な事務の執行に努められたい。



臨時職員の雇用実態について

なかじま かずお
中島 一雄

除すべきである。

問 臨時職員の雇用期間は6ヶ月で、一定の条件を満たす場合は更新が可能であり、その場合、雇用期間は最長一年となる。

しかし、この基本ルールが半ば形骸化し、同一職員が長期間、同一職場に或いは職場を代えて継続されている事例が見受けられる。

公平公正な採用をしている

竹内総務部長

答 このことにより、公正な採用が阻害されているのではないかと危惧するものである。

即ち、「仕事に慣れた人の方が職場の円滑さが確保できる」という、現場の論理によって野洲市で働きたいという多くの有能な人材を排除する結果となっているのではないか。

採用試験を含む一切の事務処理が各担当課に委ねられていることは問題であり、少なくとも当該臨時職員が担当する業務に関する職員がその合否に関するシステムは、排

現在の臨時職員採用の方法の早急な制度改革が必要と思うが。

なお、雇用関係について詳細なデータがあれば説明を求める。

数270名、うち、継続雇用者184名、新規及び期間をあけて雇用している者86名で、継続と新規の比率68対32である。

平成24年2・3月の応募状況及び合格率は、応募者568名、合格者269名、合格率は47%となっている。

その他の質問

問 野洲クリーンセンター周辺の環境保全にかける市の取り組み状況は。

答 野洲クリーンセンター周辺河川ダイオキシン類は、総合的な環境保全対策を講じ、情報を公開し、地元自治会の皆様に安心していただけるよう積極的に取り組んでいる。

山本環境経済部長



問 昨年3月11日に発生した東日本大震災では、天井や照明器具等の非構造部材が崩落し、大怪我の事故も起きた。

地域の避難所となる学校施設は、防災拠点であり、照明器具、内壁、外壁等非構造部材の耐震点検、対策が急務である。

①点検の実施状況は。
②専門家による非構造部材の耐震点検を今年度中に実施すべきではないか
③点検後、緊急を要するものは、国の支援制度を活用し、補正予算を組む等、今年度中に完了すべきと考えるが。

専門家による点検に着手

新庄教育部長

答 ①校舎の改築工事や耐震補強、大規模改修工事をした小・中学校は、非構造部材の耐震性能の確保ができています。

昭和56年以降の新耐震

学校施設の非構造部材の耐震点検・対策を

かじやま いくよ
梶山 幾世

るが。

基準で建築されている施設は実施していない。

②現在重点的に取り組んでいる校舎の耐震化工事の完了後、老朽化が目立つ校舎の大規模改修を含め、専門家による非構造部材の点検作業に着手する。体育館は、照明器具、バスケットゴールの点検を速やかに実施する。

③昭和56年以降に建築した施設の老朽化は目立っており、国の助成も含め耐震対策に取り組むたい。

証明書等コンベニ交付サービスの導入を



その他の質問

○通学路の緊急合同総点検の結果と対応について

問 「コンビニ交付サービス」は、自分の都合のよい時間帯に、朝6時半から23時の間、住民票、証明書等を取得することができ、住民サービスを向上させることができ、窓口業務負担軽減、コスト削減にもなり、導入を考えると



自治体クラウドの 共同化について

いち
き
いち
ろう
市木 一郎

一問一答

問 昨年3月11日に発生した東日本震災では庁舎が被災し、住民情報が消失するという事態が発生した。以降自治体クラウドについて経費の削減はもとより、リスク管理の側面から導入を検討される社会的な状況や動きが出てきたところである。国では、平成23年度より自治体クラウドの導入に対して経費の一部を特別交付税による支援措置が実施されているが、自治体クラウドについての本市の認識は。

答 今年度企業のコンプ्यूタで共同管理する自治体クラウドを導入する準備を始めたとの情報を得ているが認識は。

答 ご指摘のとおり滋賀県町村会で税や保険などの行政情報について、システムの共同化をクラウドで運用することを目指しておられる状況である。

問 本市では「本市が合併以降基幹系、情報系として利用してきたシステムについて、およそ10年が経過し、目指す情報化の方向と情報化の活用範囲を見直す時が到来しています。」として、6月に「野洲市総合行政システム再構築計画書」が策定されたところである。計画の目的の中に「全体最適化計画を策定し、今後10年間程度の先を見据えた野洲市総合行政システムの考え方を整理し、方向付けを行いたいと考えています。」とあるが、10年の間に自治体クラウドの共同化は視野に入っているのか。

答 今回のシステム更新は次期システムへの取り組みを見据えて、次に来るであろうシステム共同化への準備と計画的な導入・移行を目指すひとつのステップであると位置付けている。

問 計画書の中に例えばとして「野洲、守山、草津、栗東の4市において・・・」とあるが、まず、市長と担当者それぞれの情報交換の場を設けるべきと考えるが。

答 今回の行政システムの検討は私が指示した現状を把握して、狙いはどうかと議論をしたうえでのこと。ご指摘のとおり動いていると認識している。



山仲市長

問 県内では、住民基本台帳や国民健康保険など行政の基幹データについて県内6町（日野、竜王、愛荘、豊郷、甲良、多



文化・体育重複施設の 統廃合は

まる
やま
けい
じ
丸山 敬二

一問一答

問 B&G海洋センターと体育センターは同じような施設である。維持管理に要する経費等を考えたとき統廃合の検討が必要ではないか。

答 それぞれの規模や特性を活かし、周辺住民にいつでも気軽に利用できる施設として、さらに稼働率を上げる必要があると考えている。

千歳教育委員会政策監
(以下同じ)

問 文化ホールとさざなみホールは規模で選べるメリットはあるが、交通の便からは、さざなみホールについては日曜日には循環バスはないし、民間バスも2時間に1本と非常に不便である。

答 平成21年度に調査した主な理由は、経済的31%、空家・長期不在22%、借地・借家等6%、高齢世帯等31%である。

問 さざなみホールは交通アクセスの点で難点があることは指摘されている。コミュニティバスは自家用有償旅客運送の登録を受けて運行している



さざなみホール

水洗化率のさらなる向上を

問 平成23年4月1日現在499世帯が水洗化できているが、理由は。

答 平成21年度に調査した主な理由は、経済的31%、空家・長期不在22%、借地・借家等6%、高齢世帯等31%である。

問 下水道法および市の下水道条例では、排水設備の設置や水洗便所への

もので、さざなみホールの利用者を主としたものではない。さざなみホールの利便性向上については、民間バスの活用も含め、別の手法の検討が必要と考えている。

改造義務等が明確にされており、個人の様々な理由はあるが、法令等に基づく指導等はどうに行っているのか。

答 先ほど回答したような理由であるので、現在のところ指導までは行っていない。

問 未水洗化世帯に対し、もっと水洗化を促すため補助金枠の拡大や低金利の貸付を行ってはどうか。

答 すでに接続されている方との公平性の観点から新たな支援は考えていない。

その他の質問

問 「野洲市教育委員会点検・評価報告書」は、全員協議会での説明でいいのか。

答 あらためて議会（議長）に報告する。



合併特例債から見る 市政について

西本 俊吉

一問一答

問

市制誕生から8年を迎える。この間、合併特例債を充当し多くの事業展開が図られた。主な内容は、学校耐震化や改修に32億5千万円、給食センターに16億円、地域振興基金造成に13億7千万円、コミュニティセン

ター整備に7億9千万円などがある。

今年度末の借入総額は104億6、840万円、未償還残高は76億8千万円の見込み。

合併特例債の活用に関し、事業を進めた立場から市としての評価は。

答 合併特例債の対象事業は、合併協議会が作成した「新市建設計画」に基づくものであり、一体性の速やかな確立及び均衡ある発展に資するため、公共施設の整備事業を対象として積極的に取り組んだ。安全・安心のための学校の耐震化など、有効活用ができたと評価し

ている。

富田政策調整部長

(以下同じ)

問 均衡面から事業が、

駅や山側に集中し、琵琶湖側が良くなっていない、こんな声が地域の懇談会の場で出ているが。

答 合併特例債活用事業

が偏っているとの質問であるが、借入額は全市に及ぶ事業を除き、数字上では旧町の人口に比例している。

問 合併特例債の今後借入可能額は20億7千万円。

今後、合併特例債を用いた事業についての計画は。

答 合併特例債の今後の

借入予定として、幼保一体化のための施設整備で15億円、防災センター整備に3億円、野洲駅前周辺整備に2億円の3事業を予定している。

大津湖南幹線道路 の予定地について

問 30年前に計画され事

業の進捗が見えない。今後の見通しは。

答 大津湖南幹線につい

ては、大津市から草津市、栗東市と順次整備されており、守山市の琵琶湖大橋取り付け道路までの間が、平成26年度に供用開始するメドがたった。

市では比江地先より先線の事業化の実施を求めてきたが、今年度、比江地先の測量に入る予定。また、平成24年度末には、市道上屋西河原線から市道辻町小比江線までの間

が暫定完成となる。

橋都市建設部長

(以下同じ)

問 比留田地先計画用地の維持管理は。

答 比留田自治会が、滋賀県から除草作業の委託を受け、年に5回実施している。



市民の健康管理と 医療費の抑制は

矢野 隆行

一問一答

る。

佐敷健康福祉部長

(以下同じ)

問 治療中断者に対する

医療機関受診勧奨指導は。

答 本市ではまだ制度化した体系的な取組として実施するには至っていないが、有効な対策と考え

ており、早ければ今年度後半からデータ整理等の体系化を経て強化・実施していく方向である。

問 人工透析リスク患者に対する病気の重症化予防指導は。

非常にも有効な事業と考える

佐敷健康福祉部長

問 非常に有効な事業と

考えており、本市では、現在、特にこれに特化した体系的な取組を実施するには至っていないが、次年度以降体系的に実施するために、今年度後半から試行を始めたとい考

えている。

その他の質問

○義務付け・枠付けの見直しに伴う条例制定の取り組みは。

○災害と建設産業／東日本大震災で再確認されたことについて。



問 禁忌服薬情報の提供事業は。

答 今後事業内容等の情報を収集して判断したいと考えている。



市立病院の整備は 本当に必要か

井狩 辰也



野洲病院

問 ①本市が市立病院を整備しなかったとしても、病院と自宅療養の間をつなぐ役割を持った施設（県立リハビリテーションセンター）が近くにある、また、市立病院以外の在宅医療の拠点も考えられ、市民にとって安心して生活できる環境を整えることは可能だと考えるが。

②昨年10月の野洲市中期財政見通しでは、平成28年度には実質公債費比率が18%になる可能性があり、普通交付税は現在の合併算定替から一本算定になり、平成27年度から一定の割合で減額されていく。財源不足は明らかである。病院事業に対し一般財源からの交付税算入分のみの繰り出しを考えているのか。

③市民サービス全体における地域医療の優先度を、いつ、どのように位置づけるのか。

簡単に欲しいから つくれるといった ものではない

山仲市長

答 ①あり得るご意見である。昨年の検討委員会です。市民が市税等を投入する覚悟が必要とされており、簡単に欲しいからつくれるといったものではない。

②病院運営の財源は、医療収入と国からの交付税を充てる。さらに病院建設や維持管理は国の基準例に基づき支出する。これは現在野洲病院に支援

をしている1億から1億数千円幅の中での支援となると考えている。

③市民サービスには、ごみ処理や保育等の市民の基幹的なサービスと、そうでないサービスがある。基幹的な部分は市民生活に必要なためなくすわけにいかないが、プールや博物館などは、選択が可能であり優先度を決めた。年内ぐらいに一定の方向が出せればと考えている。



問 大津市のいじめによる中学生の自殺事件は、「子どもたちの命を守り、子どもたちが人間として大切にされる学校とは」が問われている。しかし、学校が持つべき教育的機能が発揮されなかったことが大きな原因と考える。野洲市教育委員会として、大津市の事件に対する見解と教訓は。

答 いじめ問題発生時には疑わしい場合も含め、迅速に、組織的に対応を進めることが大事。また、情報の共有と透明性の確保が必要であり、その場で、毅然とした態度をとることの大切さを再確認した。

木下教育委員会委員長

問 いじめ問題に対する野洲市の対応指針の⑥では、クラス会や学年集会で、子ども達を「指導する」としているが、指導でなく、「子ども達自身に、いじめや人権について、考えさせ、議論させ、

子どもたちの命を守り 大切にされる学校へ

小菅 六雄

一問一答

解決に導く」ための観点が必要であるが。

答 子ども達自身の討議や話し合いで考えさせていくのは大事なことであり、このような取り組みも行っている。

南出教育長
(以下も同じ)

問 いじめ対応では、教師集団の情報共有と解決への取り組みの議論が必要であるが。

答 職員会議で論議し、対応や方向性を決定して共有化を図っている。



各学校で作成されている「ストップいじめアクションプラン」の一例

問 文科省の教員勤務実態調査でも教師は極めて多忙であり、子どもに向き合う教育が出来ない。この改善が必要であるが。答 こういった実態は認識している。現場の職員

に書類作成なり、負担のからないように努めた。

暮らしも経済も壊す 消費税増税に対する 市長の見解は

問 消費税増税法案が自民・公明・民主の賛成で可決した。法案可決後の世論調査でも増税反対は多数である。市民の暮らしを直撃する増税ではなく、税と社会保障の財源は、能力に応じて負担する税制の仕組みにすること。また、税金の無駄をなくし、国民生活を守ることであるが。

答 税の改革と言っても、負担の公平に配慮したものでなく、増税だけが先行されたものと考えている。消費税は逆進性を持っており、低所得者に負担が重く、格差の拡大が広がり、社会の健全さが失われるのではないかと懸念している。

山仲市長

皆さんに“読んでいただくため”の
「議会だより」としたいため
以下のアンケートにご協力お願いします。



- ・回答は下の「きりとり」線以下にご記入のうえ、11月20日(火)までに市役所3階議会事務局へ持参またはFAXをお願いします。

(連絡先は表紙に記載)

また、議会懇談会時(10ページに記載)及び市内各コミセンに持参いただいても結構です。

1. 発行は定例議会終了後ですが、おもにどの記事を読んでいますか。(いくつでも)

- ① 全部 ② 議案関係 ③ 委員会報告 ④ 一般質問 ⑤ 審議結果
- ⑥ 特集(発行時の話題等) ⑦ お知らせ等最終ページ ⑧ 読まない
- ⑨ その他()

2. 議会だよりは読みやすいですか。

- ① 読みやすい ② どちらとも言えない ③ 読みにくい

3. 問2で③読みにくいと回答された方に、その理由をおうかがいします。

- ・構成が悪い、字が小さい、写真・イラストが少ない、など、自由にお書きください。

4. 不要の内容(記事)はありますか。

5. 希望される内容はありますか。

6. 議会だより全般について、感想、要望、意見等自由にお書きください。

・以上ご協力ありがとうございました。

.....きりとり.....

回	答
---	---

1. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

⑨その他

2. ① ② ③

3. 理由:

4.

5.

6.

第3回議会 報告会・懇談会のご意見の対応

去る5月に市内3箇所

で出された市行政及び議会に対するご意見の主なものについて、その対応結果（状況）についてお知らせします。

意見 亀岡で小学生の痛ましい事故があった。本市で通学路の危険箇所の点検はしているか。

対応 野洲市内小学校の通学路における緊急合同点検を、7月9日から18日に実施された。

（学校教育課他2課）
意見 市道で上水道がよく破裂し、舗装がつぎはぎが多い。カラー舗装をして欲しい。

対応 破裂箇所の復旧は、上下水道課が実施している。全面舗装は、市内道路の全体で優先度の高い路線から着手している。

（道路河川課）
意見 平清盛云々で観光客が増えている。平家が終焉した平宗盛の胴塚が市内にある。市として力を入れるべき。

対応 平家終焉の地については、観光パンフレットに記載し、ハイキングコースに入れ込んでいく。

（商工観光課）

意見 県道野洲中主線のJ R 跨線橋が開通となり交通量が増えた。どれだけの交通量があれば新幹線高架付近に歩道橋の設置が可能か。

対応 県道の車輛交通量、横断者の通行量から現状では歩道橋の設置は困難である。（国県事業対策室）

意見 J R 野洲駅の守山側の踏切は、ラッシュ時には遮断機が降りたまま、また、自動車、歩行者、自転車（^{ぶせう}）が輻輳し危険であり、改善してほしい。

対応 J R の基本的な考えとして、踏切前後の道路が道路構造令に基づく歩道が整備されていることが前提であり、当踏切は条件を満たしていない。

（道路河川課）
意見 坂口議員の辞職勧告が議決されたが、本人が弁明し、辞めない理由を市民に発信すべき。

対応 議会改革特別委員会において議論し、議会だより8月号に経過等を含め、本人の辞任しない理由について掲載。

（議会）

第4回 野洲市議会報告会・懇談会を開催します。

～議会だより（本号）を持ってお越しください～

開催日時	会場	担当班
11月14日(水) 午後7時～	コミセンしのはら 大ホール	(総務) 田中 孝嗣 (文福) 田中 良隆 (環境) 立入三千男 内田 聡史 西本 俊吉 太田 健一 井狩 辰也
11月15日(木) 午後7時～	コミセンひょうず 研修室	(総務) 小菅 六雄 (文福) 梶山 幾世 (環境) 中島 一雄 三和 郁子 奥村 治男 丸山 敬二 市木 一郎
11月18日(日) 午後1時30分～	コミセンみかみ 大ホール	(総務) 鈴木 市朗 (文福) 野並 享子 (環境) 河野 司 矢野 隆行 高橋 繁夫 坂口 哲哉

懇談会のテーマ

- ・ 議員定数、報酬
- ・ 空き家適正管理条例
- ・ 新病院の整備
- など





認知症について

うちださと
内田聡史

一問一答

問 8月に発表された認知高齢者の推計データによると、現時点で認知高齢者は300万人を超え、2002年の149万人から倍増していることが明らかになった。これは、65歳以上人口の10人に一人が、認知症であるとの結果である。この背景には急激な高齢化に加え、認知症の発症などが進んだこと、初期段階における医療機関への受診、診断を行う医師や医療機関の増加であると考えられる。本市における認知高齢者の現状は。

答 昨年9月末現在で最も重度なMランクが5人、IVランクが136人、IIIランクが380人であり、要介護認定者の約3割が認知症高齢者に該当。

井狩健康福祉部政策監
(以下同じ)

問 18歳以上65歳未満の方に認知症の症状が発症する若年性認知症がある。この方々への支援は。

答 自立支援医療費給付や介護保険サービス等を利用。

また、本年5月に若年性認知症支援ネットワーク会議を開催し、認知症の課題分析を行い、広域での支援対策の取り組みを検討中。

問 認知症で精神病院への入院患者が増加している要因の一つに早期診断、早期発見の遅れがあるとしているが、認知症サポーター医の現状と医療機関の連携は。

答 昨年度末で県内に38人。守山・野洲地域には4人。高齢者が受診されるかかりつけ医に、認知症への助言や相談が積極的に行って貰えるよう守山・野洲医師会を通じサポーター医の資格取得をお願いし、認知症高齢者の支援体制を確立する。

問 厚生労働省は平成17年度から10年間を「認知症を知り地域をつくる10カ年」として認知症サポーターキャラバンを展開している本市の状況は。

答 本市では平成19年度から実施し、これまで45回の認知症サポーター講座を開

催。キャラバンメイトは41人で、サポーターは926人の登録がある。

問 サポーター講座を受けて頂いた方に、更に一歩踏み出した取り組みとして、認知症高齢者を支える家族の助けをして貰えないか。

答 サポーターの役割は特別な事ではなく、身近な見守り役であるとの認識である。

問 厚生労働省は、小中学生向けに認知症サポーター養成講座の副読本を作成している。市内の小中学校において講座を開催された実績と今後の取り組み予定は。

答 これまで講座の開設はしていない。しかし、本年7月に地域包括支援センターより小中学校の校長会で、小中学生養成講座についての呼びかけがあり、検討段階である。生徒が認知症について正しく知り、身近なお年寄りとの接し方について考える機会を設けていきたいと考える。

南出教育長



いじめを考える

みわいくこ
三和郁子

一問一答

問 子ども達が明るく楽しく学校生活が送れ、また、先生方が委縮しないよう求めいじめを考える。文科省や滋賀県教育委員会からいじめに関する多くの通知等が発せられている。その対応は。

答 主旨に沿って対応している。

南出教育長
(以下同じ)

問 「ストップいじめアクションプラン」の当市の位置付けと、いじめ対処マニュアルの整備は。

答 当該プランを基本に学校ごとにマニュアルを作成し実践している。

問 大津市の中学生自殺問題についての印象と受け止めは。

答 教育の場がかかわって痛ましい事故が起こったことは本当に残念で、あつてはならないことと思う。伸びやかに子ども達が育つ環境づくりを真剣に取り組む必要がある。

川西市の「子どもの人権オンブズパーソン」条例がある。研究・検討することを提言する。

答 条例や「人権尊重のまち宣言」、「人権施策の基本計画」などで力

山仲市長
問 子どものサインを見落とさず早期解決と教職員が自信を持てるような指導・支援を。

木下教育委員会委員長
(以下同じ)

問 大津市の学校・教育委員会の会見は、甚だ心もとなく、思慮に欠けており教育現場への不信を招いた。この点についての所見は。

答 学校と教育委員会の信頼関係の醸成、市長部局との情報共有を図りつつ、子ども達の命を守る強い決意の必要を実感。

問 人権問題の解決にあたる第三者機関の新設を多くの自治体が検討。

川西市の「子どもの人権オンブズパーソン」条例がある。研究・検討することを提言する。

答 条例や「人権尊重のまち宣言」、「人権施策の基本計画」などで力



山本環境経済部長

家庭のガーデニング 用土再利用

問 鉢植え・プランター等の不要になった残土処理の市民の悩みへの対応は。

答 個人で処理できるような環境づくりを行政として検討したい。



新病院可能性の検討について

高橋 繁夫
たかはし しげお

安心ただけ、理解が
得られるよう努める
山本環境経済部長

問 特定医療法人社団御上会が解散となった場合、市が貸し付けている9億円のうち未償還となっている6億4千万円の回収問題、また、現法人の民間金融機関借入金に対する損失補償問題がある。

答 特定医療法人社団御上会では、6月議会で、現在野洲病院に支出している補助金額が目安になると示された。その範囲内で病院経営の収支バランスがとれるか。検証の最新状況は。

問 開院10年では黒字転換できず、20年後の累積損失は5億円の赤字。材料費や委託料など統計上民間病院並みに調達できれば黒字経営可能。ただし、一定の前提条件をクリアする必要がある。

野洲クリーンセンター 周辺ダイオキシンの 調査結果について

問 クリーンセンター横の水路ならびに下流砂防沈砂池の底質ダイオキシン類について、環境基準値に近い値が検出され、追加調査を実施し、地元大篠原自治会役員、対策委員会各団体に説明されたが反応は。

答 原因究明とともに砂防沈砂池の細部調査や施設敷地内での調査を実施したうえで、砂防沈砂池に堆積した汚染底砂の速やかな除去を求めるとのご意見をいただいた。

問 大篠原自治会の信頼を裏切る行為と受け取られたのではないか。また、信頼を取り戻す対応を考えているのか。

答 今後、適切な環境モニタリングの実施、環境監視にかかる新たな第三者機関を設置、大篠原自治会からのご要望に対する回答事項の履行に加え、きめ細かく報告、協議をする。引き続き大篠原自治会の皆さまにご安心いただだけ、ご理解が得られるよう努める。

問 アクシオンプランでは、ほとんどだが、双方とも



いじめ問題について

坂口 哲哉
さかぐち てつや

対応が必要。

問 いじめを阻止することとは、現場を抱えている先生は、大変苦勞をされているが、人命に関わるいじめがあってはならない。ストップいじめアクションの作成はいつか。

答 いじめられる側・いじめめる側・傍観者の3構造で、いじめた子どもへの指導力や指導手順をはじめ傍観者への指導も含め具体的に明示している。

問 あらゆるいじめはあるが、どの程度までつかんでいるか。

答 平成18年に作成し、今年1月に県の教育委員会のいじめ対策チームが加筆修正。

問 そういったケースは聞いており、学校で指導している。

問 未然防止の具体的な取組みとあるが、それだけではないと思う。担任の先生が毎朝点呼をする時に生徒の顔を毎日見ているから、状況によって判断できるのではないか。

問 教育長として、いじめの問題をどのように捉まえ、どう対処するのか。

答 教室で朝の学活の際に「様子に変化はないか」「表情は良好だろうか」「一人ひとりの児童・生徒の観察を行っている。いじめと判断すれば、教職員がチームとなって問題解決に取り組んでいる。

問 命や人権に関わる問題で、人として決して許されない行為。保護者・地域社会を含めた大人が大きな責任を担っている。毅然とした態度で対応。子どもたちが明るく学校へ通えるよう、そうした学習環境の場を、地域の皆さんと協力して作っていくことが大事。

問 地域の見守り隊の声を聞くのも有効な手段と考えるか。

答 スクールガード・ボ





いじめ等防止条例の 制定について

たち
いり
み
ち
お
立入 三千男

問 大津市では昨年10月、いじめを受けた中学2年の男子生徒が自殺した問題で、学校現場や市教育委員会においての隠蔽体質や皆さんの調査等、問題意識の欠如、不適切な対応についてテレビ等で連日報道され、また同様の事象、事件が全国で相次ぎ発生、発覚、いじめ問題が大きくクローズアップされている。大津市においては、第三者調査委員会を立ち上げ、事実確認や真相究明をされている。一連の大津市の学校現場の取り組みや、教育委員会の対応をどのように受け止められているのか、教育長の所見は。

野洲市教育委員会としては、大津市の事件を教訓に、学校現場及び関係組織団体と問題を共有し、子供たちや保護者からのSOS発信をキャッチ、真摯にとらえ、しっかりと対応する。信頼される教育委員会であることを強く求める。今回の大津市のように、事件があつてから第三者調査委員会を設置するのではなく、常設の第三者調査委員会の設置条例やいじめ等防止条例の制定は。

条例制定は 考えていない

南出教育長

答 この事件からは、迅速な情報の共有、透明性を確保した対応などが必要で学校と教育委員会との連携はもとより、早期の対応が不可欠との認識を持っている。

また本市においては、いじめの未然防止、早期発見、早期対応への体制が整えられ、十分に機能していると考えており、条例制定については考えていない。

ペット火葬炉に関する 条例の制定について

問 本市において市街化区域内の住宅地でペット

火葬炉の設置が進められ、周辺住民皆さんから悪臭で食事も出来ない、洗濯物も干せない、また地価の下落につながる等々、設置に反対されている。

人間（人体）は墓地埋葬等に関する法律により埋葬場所や火葬炉の設置場所が定められているが、動物は対象外で、設置等の法規制がなく、ペット火葬炉は何処でも設置、営業が可能で全国各地でトラブルが発生している。

ペット火葬炉の設置については、全国で多くの自治体において、条例の制定が進められている。県下、初の野洲市ペット火葬炉に関する条例制定は。

運用状況を含め 対応する

山仲市長

答 今後条例を制定されている他の自治体の運用状況を含め対応していく。



新病院建設について

の
な
き
よう
こ
野並享子

問 5万人市民の命と健康を守るために、入院できる病院は必要。共産党市議団が実施したアンケートで財政的な心配の声があるが、どのような事業展開をされるのか。

答 どのような方法であれば健全な病院経営ができるのか検討している。赤字を前提とした病院を整備することは考えていない。

山仲市長（以下同じ）
問 アンケートでは、7割の方が病院は必要と回答され、「午後の外来診療。漢方専門外来。高いレベルの病院。眼科診療日を毎日。小児科の充実」などを要望。現在でも8万9千人が利用しており、市民が安心できる新病院が必要だが。

答 市民サービスの観点で検討する。

問 名古屋市内南生協病院は、1階はサロンのような雰囲気、自由に市民が往来。2階はフィットネス、図書室、病児保育室など複合施設。野

問 市の新病院も参考になるのでは。

答 参考になる事例はすべて参考にする。

問 病院の立地場所について、駅前市の市有地以外の用地費がいくらかかるのか。また他の場所も含め市財政への影響は。

答 赤字にならない病院ができるかどうか検討している。真ん中で、土地の検討には入っていない。市有地に建てても財政的にはかなり厳しい。

国道8号バイパスについて

問 共産党地方議員団として、1988年、当時の建設省に瀬崎元衆議院議員とともに、国8バイパスの早期実現の要望に行き、一貫してバイパス建設を求めてきたが、高架道路というのは通過道路であり、環境、騒音、振動、景観、営業、日常生活への影響などがある。早期実現の為に地元の方の願いにどのように応えていくかと思うが。

答 その場その場で絵をかき、法律に基づいた計画決定通りにしてほしいと望んでいる。

その他の質問

○図書室、病児保育室など



舗装の割れ目から雑草

問 市内の市道の老朽化が各地域でも問題となっているが、全市的な対策や補修の計画は。

答 平成21年度に市内全域の幹線道路の調査を実施。平成25年度に整備計画を立案、順次整備を行う。

橋都市建設部長
(以下同じ)

問 近江富士団地は造成から30年以上が過ぎており、団地内の市道アスファルトの各所にひび割れや地盤沈下などが起きている。補修の計画は。

答 歩道部分の擦り付け工事や部分的な補修は対応。道路補修の計画は、市道の整備計画の中で反映させる。



道路の補修について

おた
たけん
いち
太田 健一

一問一答



個人での補修

問 アスファルトの劣化を最小限に抑える事や未然に怪我や事故等を防ぐという意味でも、応急的な処置が必要と考える。

答 地域住民からの要望があった場合、対応することは可能なのか。

答 自治会から問い合わせがあれば、その都度、アスファルト補填材を支給しており、瀝青材などでの対応も検討していく。

野洲川河川公園の管理運営について

野洲川河川公園の管理運営は、公募による指定管理者として『NPO法人・YASUほほえみクラブ』が運営しているが、活動の詳細内容は。

問 スクール、サークル、イベント、コミュニティ、メディカル・ケア等、様々な事業を展開。特徴的な取り組みとして、障がいのある人を対象とした事業にも力を入れている。

答 ほほえみクラブの方々には熱意を持って管理運営をされているが、市民からの要望やクラブとしての想いなど、行政としての援助や指導などが不可欠と考える。国土交通省との関連もあり、条例や法的なものなどの制約があるが、どのような取り組みを考えているのか。

問 国土交通省から占用の許可を得て運営を行っているが、様々な制約の中、縮小し、自然化の検討を求められた時期もあった。しかし、年間6万人を超える多くの利用者のためにも、市民のニーズに応じて、今後は拡大も視野に入れて検討していく。

橋都市建設部長



子どもの気持ちに添った対応を求める

たなか
たかし
田中 孝嗣

問 ある保護者から次のようなことを聞いた。特別支援学級の児童が、「支援学級から自分のクラスへ帰り、みんなと一緒に習いたいのに授業の内容が、のけ者状態になっている。」と塾の先生に訴えたところ、学校と相談するよう言われた。担任の先生に全てを話したが、勉強は3か月遅れており、今すぐには無理と言われた。

問 今回の件については、学級担任が週に1回家庭訪問し、児童の様子を保護者に伝えていく。また校長も学校教育課の担当者とともに保護者と2回面談するなど、学校が十分、気楽に相談できる窓口になっていると認識している。

答 私は相談を受けた保護者と一緒に学校へ行った（以下同じ）

南出教育長

問 私は相談を受けた保護者と一緒に学校へ行った（以下同じ）

たら、先生方は学校の立場で一方向的にしゃべっている。

また別の日に保護者が祖母と学校へ行ったら、祖母は席を外すように言われた。

とても気楽な相談ができるとは言えないが。

問 個々の発言や、やり取りを直接聞いたり、確認はしていないが、保護者の方に不快感を与えたり、説明した意図が伝わっていないとすれば反省をしなければならない。

問 現在何人くらいが支援学級に通っているのか。

答 市内の小中学校9校に、特別支援学級が33学級あり、17名の児童生徒が在籍している。

問 本市は福祉が充実しているといって、転入する子どもがいると聞いているが何人いるのか。

答 「野洲市の特別支援教育が進んでいるので転入したい。」と、一部の保護者から聞いたことはあるが、そういった理由

から転入しているかどうかは確認できていない。

問 一度支援学級に入れば元のクラスに戻れないのか。

答 通常の学級に変更を希望されると、学校を通じて「野洲市就学指導委員会」に申し出があり審議する。

特別支援学級で学ぶことが適切と判断することもあるが、最終的には保護者の決定が尊重される。

問 子どもが訴えているのに、家庭の問題や学校の質の問題と言わず、訴えを優先して、何学期であるかが普通の教室に戻すべきと思うが。

答 学年の途中では無理で、次の学年に上がるとき「就学指導委員会」にかけ、その答申をもらい保護者が決めるのがルールである。





問 山仲市長が一期目に掲げられたマニフェストの中で、野洲駅前開発や国道8号バイパスに関しては、その実現に向けて大きく前進した点で高く評価するものである。

これらの実績を総括した上で、二期目に臨まれるに当たり、示されているマニフェストについて。

① 地元企業や商工業者への支援を行うことで、雇用の創出や税収の増加につなげなければならないと考えるが。



マニフェストの思いは

河野の
司

② 歴史ある野洲の観光資源をどのように活かしていくのか。

③ 市民の生命・財産を守る防災体制、危機管理体制のあり方は。

④ 賑わいのある野洲駅前の具体的なイメージとは。

元気の源になる
まちづくりを進めたい

山仲市長

答 まちづくりの基本的な姿勢は、透明性と公平・公正であると考えて。透明性により、様々な批判、提案、チェックが生まれてくる。その中で、新しい取り組みや創造的な活動が創出される。

① これまでの産業政策を一段と強化して、立地企業や新規企業の展開による税増収を図っていく。

また、市街化区域の拡大や大規模住宅開発の効果も活かしていきたい。

② 野洲地域の琵琶湖は良い位置を占めているの

で、本市の観光資源として活用していきたい。

まず、市民に地域を知ってもらい、地域を愛好してもらう中で、観光者にも楽しんでいただきたい。

③ 防災については、設備で取り組む部分と、人が対応して行う部分があり、しっかりと見極めながら、最小限の被害で抑えられるような対策が必要。また、防災センターの機能の充実を図る。

④ 市民がゆったりと生活と交流ができ、その中でいろいろな商機、ビジネスチャンスが生まれると考える。

その中で、公共の空間をしっかりと位置づける必要があり、結果的に地域が発展する、人が集えるという方向に持っていきたい。毎日の生活が元気の源になるまちづくりを進めたい。



八幡川砂防堰堤

問 集中豪雨被害を受けた奈良県十津川村、県内では大津市田上の一部の例にならない、三上山、妙光寺山、田中山、旗振山の山林防災対策と落石対策について。

答 当該山の土砂災害警戒区域等の指定状況は、三上山の土石流12箇所、急傾斜地3箇所をはじめ、他3山も少なからず数箇所の指定がある。

防災対策は県にて危険度の高い箇所から整備している。

今年8月にも知事にさらなる進捗を要望。

橋都市建設部長
(以下同じ)



田中山中腹部

山林防災と落石対策

鈴木
市朗

一問一答

問 当該4山の問題点は。

答 三上山について妓王井川支流の砂防堰堤整備の計画がある。景観の課題もあり県と詰める。

妙光寺山については、土砂ずれ箇所があり、重点監視箇所として警戒時に監視。

他に旗振山中腹部で変化の懸念があり、現在県と協議中。

当市内の右折溜りのある交差点は何箇所か。

答 国道12箇所、県道57箇所、市道60箇所。

橋都市建設部長
問 進行矢印の信号機は何箇所か。

答 合計10箇所

中島市民部長
問 右折溜りの交通量の調査等は。

答 実施していないが把握している。

橋都市建設部長
問 行畑行事神社付近の交差点の信号機に、右折矢印が必要と考えるが。

答 早急に実態調査を行い関係機関と協議を行う。

中島市民部長

交差点の交通対策

問 我が国の道路状況は依然として改善されていない。当市にとっても国道・県道・市道と数多く貫通している。



平成 24 年 8 月定例会の提出議案と審議結果

【全員賛成で承認・認定・可決した議案】

分 類	議案番号	件 名	議決月日	審議結果
補正予算	議第56号	専決処分につき承認を求めることについて（平成24年度野洲市一般会計補正予算（第2号））	9月4日	承認
	議第57号	平成24年度野洲市一般会計補正予算（第3号）	9月21日	原案可決
	議第58号	平成24年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9月21日	原案可決
	議第59号	平成24年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9月21日	原案可決
	議第60号	平成24年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	9月21日	原案可決
	議第61号	平成24年度野洲市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	9月21日	原案可決
	議第62号	平成24年度野洲市墓地公園事業特別会計補正予算（第1号）	9月21日	原案可決
決 算	議第66号	平成23年度野洲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月21日	認定
	議第67号	平成23年度野洲市地域医療振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月21日	認定
	議第68号	平成23年度野洲市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月21日	認定
	議第69号	平成23年度野洲市墓地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月21日	認定
	議第70号	平成23年度野洲市基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月21日	認定
	議第71号	平成23年度野洲市工業団地等整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月21日	認定
	議第72号	平成23年度野洲市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	9月21日	認定
	議第73号	平成23年度野洲市水道事業会計決算の認定について	9月21日	認定
条 例	議第74号	野洲市防災会議条例の一部を改正する条例	9月21日	原案可決
	議第75号	野洲市災害対策本部条例の一部を改正する条例	9月21日	原案可決
そ の 他	報告第5号	平成23年度野洲市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	報告
	議第77号	指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて（野洲文化ホールほか）	9月21日	原案可決
	議第78号	指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて（野洲市総合体育館）	9月21日	原案可決
	議第79号	指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて（野洲市中主B&G海洋センター）	9月21日	原案可決
	議第80号	指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて（野洲市市民グラウンド）	9月21日	原案可決
	議第81号	指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて（野洲市体育センター）	9月21日	原案可決
	議第82号	市道路線の認定及び廃止について	9月21日	原案可決
	議第83号	和解について	9月4日	原案可決
	議第84号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	9月4日	適任
発 議	発議第3号	野洲市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	9月21日	原案可決
意 見 書	意見書第14号	「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書（案）	9月21日	原案可決
	意見書第15号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書（案）	9月21日	原案可決

【賛否が分かれた議案と審議結果（○：賛成 ●：反対）】

分 類	議案番号	件 名	審議結果	矢野隆行	梶山幾世	井狩辰也	市木一郎	高橋繁夫	奥村治男	中島一雄	丸山敬二	西本俊吉	坂口哲哉	立入三千男	太田健一	野並享子	小菅六雄	田中孝嗣	三和郁子	鈴木市朗	内田聡史	田中良隆	河野司
決 算	議第63号	平成23年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	—	○
	議第64号	平成23年度野洲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	—	○
	議第65号	平成23年度野洲市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	—	○
条 例	議第76号	野洲市道路占用料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	—	○
意見書	意見書第12号	米軍輸送機オスプレイの配備撤回を求める意見書（案）	否決	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	—	●
	意見書第13号	陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める意見書（案）	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	—	●

※ 議長（田中良隆議員）は採決に加わらない。

研修報告

議会運営委員会

7月17日

議会改革を進める中で、「市民との対話集会及び議員問討論」を実施されている現状について、また、本市における新病院整備の可能性についての研修として、それぞれ行政視察研修を実施した。

○岐阜県多治見市

市民対話集会は、年一回、市政の重要課題について毎回テーマを設け実施され、市民との対話を充実させ、また議員個人の意見の発言も可能として集会を活性化させている。

議員問討論については委員会において議員発議で実施されている。



○総合病院 南生協病院

名古屋市の南生協病院は、組合員の出資による病院であり、様々なところで組合員が主体的に運営に参画し、医師確保についても組合員のネットワークにより協力している。病院機能の充実とあわせ、健康の増進、市民の交流、地域のやすらぎの空間を創出されている。



総務常任委員会

7月19日

自治体の情報システムの集約と共同化を図る「自治体クラウド」及び、老朽化した空き家の

適正管理を図るための条例制定に向けて先進的な取り組みを視察した。

○奈良県河合町

河合町を始めとする周辺7市町では「奈良県基幹システム共同化検討会」を発足させ、昨年5月から順次システム移行作業を行ってきた。

基幹業務である住民基本台帳、外国人登録、印鑑登録など22のサービス対象業務を共同化することにより、システムに係る大幅な経費削減や住民サービスの向上が図られている。また、基幹業務に付随する課税通知などの帳票の出力、封入作業をアウトソーシングすることにより、職員の負担軽減に繋がるものであった。同時に外部のデータセンターを活用することにより、災害などによる緊急時の業務継続を確保することができる。

滋賀県内でも6町が取組を進めている。本市の導入の検討について、議会でも議論を深めていきたい。



○大阪府貝塚市

貝塚市では議員提案により条例が制定された。

この条例は適正に管理できていない空き家や空き地等が通報により分かかった場合には行政が実態調査を行い、その結果次第では指導↓勧告↓公表↓措置命令↓罰則（5万円以下）↓代執行の行為を行う事を規定しており、実効性の強い条例となっている。

条例の運用を規定した規則は作成中であつたが、代執行を行うに当たっては逆に市が提訴されないよう、代執行に至るまでの過程のあり方について慎重に検討を重ねられている。

本市においても平成20年に行われた住宅・土地

統計調査において460戸の空き家が存在する。空き家を放置することは、防犯上の問題や周囲の生活環境の保全、災害発生時の影響等が危惧される場所であり、議会においても条例制定について議論を重ねていきたい。

議会広報特別委員会

8月8日・9日

議会広報紙の編集と発行について、本市と人口規模が同程度の、静岡県御殿場市と伊豆の国市の視察研修を実施した。

○静岡県御殿場市

小学生から高齢者までにわかりやすいようにするため、難しい漢字は使わない、文字を大きくする、記事をイメージしやすいように写真やイラストを効果的に取り入れるなど、工夫をされている。

また、表紙には議会活動を写真で紹介をし、裏表紙には『Q&Aコーナー』や『議長日記』をシリーズ化で掲載するなど、市民が議会に対して親しみの持てる広報となっていた。

2年前、広報が見づらいいという市民からの意見を受け、改善を図り今の紙面になったものである。

○静岡県伊豆の国市

議員が中心となり、中学生が理解できる記事づくりに努めている。そのため、簡単明瞭な言葉を使用する、行政用語は置き換える、時には読み仮名をつけることや難解な言葉には注釈を取り入れられている。また、議会広報は『パフォーマンスの場ではない』という考えのもと、議員の写真は掲載されていない。表紙には市内の中学生が描いた絵を載せており、その絵を生かすために毎号表紙のレイアウトが変わるなど、よりよい広報にするためその都度委員で相談して記事の内容を決定されている。

どちらの議会広報も『わかりやすい内容、市民に親しまれる広報紙』とするための努力をされており、今後の本市においても、充実した紙面づくりを目指すため、大いに参考となった。

議会の動き

《8月》

8日～9日 議会広報特別

委員会行政視察研修

(静岡県)

17日 総務常任委員会

20日 議会運営委員会

全員協議会

議会改革特別委員会

文教福祉常任委員会

28日 本会議(開会・提案

理由説明)

決算特別委員会

議会広報特別委員会

《9月》

4日 本会議(議案質疑・一

般質問)

予算常任委員会

決算特別委員会

5日 本会議(一般質問)

6日 本会議(一般質問)

都市基盤整備特別委

員会

7日 決算特別委員会

(総務分科会)

総務常任委員会

10日 決算特別委員会

(文教福祉分科会)

11日 決算特別委員会

(環境経済建設分科会)

12日 予算常任委員会

(総務分科会)

総務常任委員会

予算常任委員会
(文教福祉分科会)
文教福祉常任委員会
13日 予算常任委員会
(環境経済建設分科会)
環境経済建設常任委
員会

19日 予算常任委員会
決算特別委員会
議会広報特別委員会
総務常任委員会
21日 議会運営委員会
全員協議会

25日 議会改革特別委員会
都市基盤整備特別委
員会

3日 議会広報特別委員会
16日 議会広報特別委員会
19日 総務常任委員会
24日 議会改革特別委員会
文教福祉常任委員会
学校現地調査

《10月》

25日 全員協議会
29日～30日 環境経済建設
常任委員会行政視察
(香川県・徳島県)



議員の表彰について

(本年8月以降の受賞)

○ 滋賀県市議会議長

中島一雄議員(10年)

三和郁子議員(10年)

【表彰規程に基づき、期数が同じでも当選時期により、受賞時期も異なります。また、旧町の年数は表彰規程に基づき換算し加算されています。】

傍聴のご案内

傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所本館3階議会事務局で、住所・氏名等を記入し、傍聴席に入場してください。

なお、8月定例会では、延べ16名の方に本会議を傍聴いただきました。

写真募集

「やす市議会だより」の表紙に掲載する写真を募集しています。

どなたでも応募可能です。

応募方法は野洲市議会事務局まで。

○ TEL 077-587-6034

○ FAX 077-586-4300

○ メール gikai@city.yasu.lg.jp

今後の議会予定

月 日	曜日	種 別	開議時刻	摘 要
11月2日	金	委員会	9:00	議会運営委員会
		協議会	10:00	全員協議会
5日	月	本会議	9:00	臨時会開会
22日	木	委員会	9:00	議会運営委員会
		協議会	13:00	全員協議会
30日	金	本会議	9:00	開会、上程議案の提案説明
12月6日	木	本会議	9:00	議案質疑、一般質問
		委員会	本会議終了後	予算常任委員会
7日	金	本会議	9:00	一般質問
10日	月	本会議	9:00	一般質問
11日	火	委員会	9:00	委員会審査
12日	水	委員会	9:00	委員会審査
13日	木	委員会	9:00	委員会審査
18日	火	委員会	9:00	予算常任委員会
		委員会	9:00	議会運営委員会
20日	木	協議会	10:00	全員協議会
		本会議	13:00	委員長報告、質疑、討論、採決

※上記日程は都合により変更される場合があります。また、議会開会中
上記日程以外は議案調査のため休会となっています。

お知らせ

11月5日(月)午前9時開議の臨時会において正副議長の改選が行われる予定です。正副議長の選出にあたって全員協議会において、立候補者の所信表明演説が行われますので傍聴にお越し下さい。

なお、所信表明演説のインターネット中継はありません。

編集後記

本市におきましては、今課題になっていきます。野洲駅周辺をどのように市民の皆様、利便性が良く、また理解できる街並みにしていくのか。

さらに市民の安心と安全面に欠かせないのが、市内の病院整備をどのようにしていくのか、問われています。

山仲市長も再選され、更に「野洲市に住んで良かったまちづくり」に力を発揮されることを期待いたします。

議会からは、本年11月定例会に「野洲市空き家の適正管理に関する条例」を提案する予定です。これから増えると思われる空き家に対する管理条例です。市民の皆様が安心して生活できる環境づくりのためのものです。

我々議員も、市民の皆様の期待に、こたえられるよう、日々研鑽してまいります。

(Y・I)

